

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 加藤高明内閣のもとで、納税資格が撤廃され普通選挙が実現したのは何年？ |
| 問2 | ヨーロッパ諸国が生産を停止したことで急増し、日本の産業を発展させた経済活動を何という？ |
| 問3 | ガンディーが指導したインドの独立運動において、イギリスによる塩の専売に抗議して行われた象徴的な行動を何という？ |
| 問4 | 第一次世界大戦後、国際平和維持のための国際連盟設立を提唱したアメリカの大統領は誰？ |
| 問5 | 吉野作造が唱えた民本主義において、政治は最終的に何を最優先すべきであるとされた？ |
| 問6 | 1922年に結成され、小作料の引き下げなどを求めて活動した農民団体の組織を何という？ |
| 問7 | 大正時代、桂太郎内閣を総辞職に追い込み、憲法に基づく政治のあり方を求めたこの運動を何という？ |
| 問8 | 大正時代に普及が始まり、都市の住民が情報や娯楽を得る手段として一般的になった通信機器は何？ |
| 問9 | 大正時代初期の護憲運動によって退陣に追い込まれた、当時の首相は誰？ |
| 問10 | 1919年に制定されたドイツのワイマール憲法で、世界で初めて保障された権利を何という？ |
| 問11 | 1918年、ロシアで起きた社会主義革命に干渉する目的で、日本を含む列強が軍隊を派遣したことを何という？ |
| 問12 | 1918年に全国で発生し、原敬内閣誕生のきっかけとなった出来事を何という？ |
| 問13 | 労働者が賃上げや労働条件の改善を求めて行う争議のことを何という？ |
| 問14 | 米騒動が全国的に広がった結果、辞職に追い込まれた当時の内閣を何という？ |
| 問15 | 1920年に設立された国際連盟に、日本はどのような立場で参加したか？ |
| 問16 | 大正時代に、主権が誰にあるかに関わらず、民衆の意向を尊重して政治を行うべきだという「民本主義」を提唱した人物は誰？ |
| 問17 | 第一次世界大戦の講和会議として開かれ、ドイツの賠償金や国際連盟の設立を決定した1919年の条約を何という？ |
| 問18 | 国際連盟の提唱国でありながら、国内の何による反対のため加盟できなかったアメリカの機関はどこ？ |
| 問19 | 大正時代に、一定の納税額という条件をなくし、すべての成人男性に参政権を与えることを求める運動を何という？ |
| 問20 | 日英同盟の解消を決定した国際会議が開催されたのは何年？ |

答え合わせ・解説

問1	答え 1925	1925年、加藤高明内閣のもとで普通選挙法が制定されました。これにより、それまでの納税額による制限が取り払われ、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられました。
問2	答え 輸出	この好機を捉え、日本はアジアやアメリカ市場に向けて綿製品や雑貨、船などの輸出を急増させました。これにより日本の工業力は飛躍的に高まり、貿易黒字が定着しました。
問3	答え 塩の行進	1930年、ガンディーは数百キロの道のりを歩いて海岸まで行き、自ら海水を煮て塩を作る「塩の行進」を行いました。これはイギリスの植民地支配に対する静かながら強力な抵抗の意思表示であり、インド全土の民衆を勇気づけました。
問4	答え ウィルソン	アメリカ大統領のウィルソンは、戦後のパリ講和会議で国際連盟の設立を強く提唱しました。平和な世界秩序を目指し、「十四か条の平和原則」などを掲げて外交を主導しました。
問5	答え 民衆の利益	吉野作造は、天皇主権という日本の枠組みの中で、いかに民主的な政治を実現するかを模索しました。その結果、主権の所在を問うよりも、政治を行う目的が「民衆の利益」にかなっているかどうか、そして民衆が政治に影響を与えられるかという点を重視すべきだと説きました。
問6	答え 日本農民組合	賀川豊彦らが中心となって結成した日本農民組合は、日本初の全国的な農民運動組織です。地主に対して団結して交渉を行うことで、農民の権利を守ろうとしました。各地で小作争議が頻発するきっかけとなりました。
問7	答え 第一次護憲運動	桂太郎が強引に内閣を組織したことに対し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって「憲法擁護」を訴え、大規模な国民運動に発展しました。この圧力により桂内閣は短期間で総辞職に追い込まれました。
問8	答え ラジオ放送	1925年、東京・大阪・名古屋で試験的な放送が始まりました。これにより、ニュースや音楽、演芸などを遠く離れた場所から瞬時に家庭で聞くことが可能となり、国民の生活文化に大きな変化を与えました。
問9	答え 桂太郎	桂太郎は、軍部や官僚機構を背景にした典型的な藩閥政治家でした。しかし、大正時代の始まりとともに、「閥族打破・憲政擁護」を唱える民衆や政党の激しい批判にさらされ、わずか数ヶ月で内閣を総辞職することになりました（大正政変）。
問10	答え 生存権	1919年に制定されたワイマール憲法は、個人の自由だけでなく「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」である生存権を初めて明記しました。また、男女平等選挙権や労働者の権利など、極めて進歩的な内容が盛り込まれていました。
問11	答え シベリア出兵	1918年、日本はアメリカの呼びかけに応じる形で、チェコスロバキア軍の救出などを名目に軍隊をシベリアへ派遣しました。しかし、期待したほどの成果は上らず、国内では米価高騰の原因にもなりました。
問12	答え 米騒動	富山県から始まった米の買い占めに反対する運動は、瞬く間に全国へ広がりました。米屋や政府の対応に対する国民の不満が爆発し、商店が襲撃される事件へと発展しました。この出来事の結果、当時の寺内正毅内閣は退陣を余儀なくされました。
問13	答え 労働争議	労働者は自らの権利を守り、生活を改善するために労働組合を組織しました。労働組合は、使用者に対して賃上げや労働時間の短縮、職場環境の改善を求めてストライキ（同盟罷業）などを行うようになり、これらを労働争議と呼びます。
問14	答え 寺内正毅内閣	1918年に富山県で始まった米の安売りを求める運動は、全国的な暴動に発展しました。寺内正毅内閣はこの混乱を抑えることができず、最終的に責任をとって総辞職しました。
問15	答え 常任理事国	1920年に発足した国際連盟において、日本は五大国の一角として常任理事国を務めました。これは、日本が世界的に影響力を持つ強国として認知されていたことを意味します。
問16	答え 吉野作造	吉野作造は雑誌『中央公論』などで、国家の主権がどこにあるかという形式論よりも、政治の結果が民衆の利益にかなうかどうかの方が重要であると説きました。これを「民本主義」と呼び、普通選挙の実施や政党政治を求める当時の民主化運動に大きな理論的支柱を与えました。
問17	答え ベルサイユ条約	1919年にフランスのベルサイユ宮殿で締結された条約です。ドイツに対し多額の賠償金と領土の割譲を命じたほか、軍備を大幅に制限しました。また、平和を守るための国際機関である「国際連盟」の設立もこの条約で決められました。
問18	答え 議会	国際連盟はアメリカのウィルソン大統領が提唱したのですが、加盟の承認権を持つアメリカ議会で強い反対に遭いました。結果として、アメリカは条約を批准できず、国際連盟に加盟しませんでした。
問19	答え 普通選挙	大正デモクラシーの風潮の中で、知識人や民衆は、より広い範囲の国民が政治に参加すべきだと主張しました。吉野作造らが理論を支え、護憲運動などの高まりの中で、ついに1925年に普通選挙法が成立しました。
問20	答え 1921年	アメリカの呼びかけにより1921年にワシントン会議が開催されました。この会議で、日本を軍事的に抑制し、中国の主権を尊重させる国際秩序を目指すため、日英同盟の解消が合意されました。